



春日小だより

令和8年4月30日
練馬区立春日小学校
校長 磯貝 和裕
学校通信 5月号

「とまる みる まつ」 命を守る交通安全

校長 磯貝 和裕

南校庭の木々の緑が色濃くなってきました。芝生もゴールデンウィークが明けると養生期間が終了し、子供たちは、芝生の上で遊んだり学習したりすることのできるその日を心待ちにしています。

新年度が始まり、1か月あまりがたちました。新しい学年に進級し、学級編成が変わったり、担任が替わったりと子供たちにとって変化の多い1か月でした。慣れない環境から体調をくずしているお子さんも増えてきました。週末は、ご家族と楽しく過ごしながらも体を休め、次の週は元気に過ごせるようにご配慮いただければと思います。

さて、学校ホームページでもご紹介しましたが、先日、練馬警察署の方が1年生を対象とした交通安全教室を行ってくださりました。その中で警察の方から、歩行中の交通事故による死傷者の中で最も多いのは1年生です、というお話がありました。詳しく調べてみると、この時期には進学、進級等で環境が変わったことによる交通事故が多く、とりわけ7歳児(小学1年生に相当)の事故が全年齢で突出して多いことが確認できました。

そこで、4月27日(月)の全校朝会で交通安全の講話を行いました。学区域内を自動車や自転車が多く通行する春日小学校近辺の交通状況から、「とまる みる まつ」の指導をしました。道路を渡る際には、自動車や自転車が来ていないかを左右確認するために、まずは「とまる」こと。そして、周りをしっかりと「みる」ことで交通状況を見極めること。少しでも自動車や自転車が近付いてきたら、すぐに動き出さずに、まずは「まつ」こと。これら「とまる みる まつ」の指導を行いました。

また、「みる」の中で「アイコンタクト」の話もしました。「アイコンタクト」は、交差点や横断歩道などで自動車や自転車と出会った際に、歩行者とドライバーがお互いに目線を合わせながら通行しましょう、というものです。ドライバーと目を合わせるのは我々大人でも慣れないと難しいスキルですが、運転手がこちらを見ているな、と確認できるだけでもその後の横断や通行の際の安心感が違います。交通社会の中ではこの「アイコンタクト」のように自分自身で判断して行動する力も必要です。お子様と外出された際は、ぜひ意識してご指導ください。なお、「とまる みる まつ」については、以下のリンク先の番組動画でも具体的に学べます。

(「キキとカンリ」https://www2.nhk.or.jp/school/watch/bangumi/?das_id=D0005170883_00000)

話は変わりますが、5月30日(土)には体育発表会があります。以前は運動会として1日かけて行っていましたが、近年5月末でも気温が上昇していること、子供たちの身体が暑さに慣れていないことによる熱中症の心配が懸念されます。本校では例年と同様に児童の安全を考え、体育的な学習の発表をねらいとする体育発表会として、内容を精選し午前中に実施いたします。当日は、子供たちの頑張りに対する温かいご声援をよろしく願いいたします。

日程：5月30日(土) 8時40分から11時40分まで

場所：春日小学校 北校庭

種目：かけっこ・短距離走、表現

ご観賞いただく人数の制限はありません。雨天の場合は、5月31日(日)に延期します。

5月31日(日)も雨天の場合は、6月2日(火)に延期します。

体育発表会の詳細につきましては、5月7日頃に sigfy でお知らせする予定です。